

学校だより

希望のうた



第1-12号 平成30年 7月19日 佐世保市立日野小学校

こんな子どもに ☆ゆめをもち、なかまを大切に、元気いっぱい！

夏休みへ突入！！



今年の梅雨は雨があまりふらないな・・・と思っていたら、一転、想定を越えた大雨に見舞われた7月でした。九州北部，中国・四国・関西といった西日本一帯では，豪雨で甚大な被害を受けた地域もあり，復旧が待たれるところです。

前期前半は，入学式，歓迎遠足，運動会等，大きな行事がたくさんありました。行事が終わるたびに成長してくれた子どもたちでした。

前期前半の区切りとして，明日は子どもたちに話をする中で，夏休みの間，たくさん遊んで，たくさん学んで，今より一回り大きく成長してほしいと伝えます。また，担任の先生から子どもたちへ夏休みの生活の仕方について話もあります。一つしかない命，その命を大切に，命輝かせる夏休みであってほしいと願っています。

夏休みから9月にかけての学校行事について，お知らせします。

◎全校登校日 8月9日（木），21日（火）

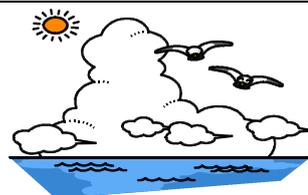
◎前期後半開始 9月3日（月）

◎夏休み作品展 9月11日（火）～9月13日（木）

◎9月授業参観・懇談会 9月11日（火）1・2・3年生
9月13日（木）4・5・6年生

※なかよし学級，にこにこ学級，ひまわり学級は交流学級で行います。

詳細は7月9日付けのお便りでご確認ください。



★ 8月11日（土）～8月15日（水）は全県的に「学校閉庁期間」（年末年始と同様）となっています。緊急な場合は，市教育委員会 学校教育課（24-1111 内線3112）で対応いたします。どうぞ，ご理解とご協力をお願いいたします。

◎家族の絆を感じる時



先日、子どもたちが家族に対して抱く気持ちを綴った詩をたくさん読む機会がありました。読み進むうちに、心が温かくなりました。「NCC おかあさんの詩」で入選した詩の中に、印象的なものがありました。まずは、その詩を紹介します。

ママのメールはまほうのメール

対馬市 阿比留 未宇

「だいじょうぶだよ」と言ったけど、

本当はママが入院してさびしくってたまらなかったよ。

チャンリンランリンラン

「朝ごはん食べてるよ」ああよかった。

「今日も元気にいってらっしゃい」いってきまあす。

チャンリンランリンラン

「赤ちゃんが生まれたらおむつかえてね」

わかったまかせて！

いっぱいメールをしてくれたね。

朝、昼、夜、パパとがんばったよ。

いつも元気もりの自分でいられました。

まるでママのメールはまほうのメールでした。

ひとつだけ、ママへのおねがいがあります。

ママ、私はもう、何でもできるお姉ちゃんです。

だって、ママがまほうをかけたでしょ。

おねがいです。

お姉ちゃんをもっともっといっぱいたよってね。

入賞作品（三年生）

出産のために入院しているお母さんの気遣いが、携帯の着信音になって、未宇さんを励ましている詩ですね。母のいない日々は子どもに自立心を促すのですね。何かと負の面が強調される携帯のメールですが、相手を思いやる気持ちで打たれたメールには、豊かなコミュニケーションが見えますね。ちょっとしたやりとりに家族の絆が見えてきます。

いつの世も、子は宝であり、また、親も子の宝であることは当然のことです。これもまた、心身が健全でなければ、宝を宝として受け止められないのです。巷で耳にする児童虐待やネグレクト、逆に子による老親への虐待も、心身が健全を保てない時に宝を宝と受け止めることができなくなった状態を指すのでしょうか。だからこそ、改めて、日野小の子どもたちに「感謝」という気持ちを持ちながら生活してもらいたいと思います。

「NCC おかあさんの詩コンクール」は、毎年、県内の幼児、小学生、中学生へ作品の募集がなされます。今年、日野っ子もトライしてみたいかながらでしよう。